

医療安全管理および事故防止に関するアンケート

- | | |
|---------------|---|
| 1. アンケートの目的 | 会員病院の医療安全管理に対する取組みの実態を把握し、今後の会務運営に反映させる。
同時に、参加者に対して医療安全管理者養成課程講習会の評価を得、標準的なカリキュラムの策定、教材の作製に繋げる。 |
| 2. アンケートの対象者 | 平成15年度医療安全管理者養成課程講習会
第1・2クール参加者158名 |
| 3. アンケートの実施時期 | 平成15年10月19日(日)
第2クール終了後 |
| 4. アンケートの回収数 | 67名(病院数59、内2名参加している病院数8) |
| 5. アンケートの内容 | 別紙 1 |

I. 回答者の特性

- ①回答者数は67名で、回答施設数は59病院である。
- ①-2 回答病院のうち、8施設が同一病院から2名の参加をみている。
- ②開設者別の回答施設数は、国が2、自治体が3、公的が1、法人が48、個人が5である。
私的が53と9割弱を占める。
- ③病院の種別でみると精神病院が16(27.1%)で、他は一般病院ないし一般病床と療養病床のケースミックス型病院である。特定機能病院からの回答者はいない。
- ④回答者の職種は、医師が11名(16.4%)、看護師34名(50.7%)、薬剤師1名、事務職11名、その他助産師、放射線技師、MSW、歯科助手がそれぞれ1名である。
- ④-2 職種無記名の者は6名であった。
- ⑤集計にあたって母数を設問内容から分けた。
個々の病院の医療安全管理体制に関する問については回答施設数を母数にしている。
他方、医療安全に対する意識調査、研修会への評価は回答者数である。
前者について二人の回答が違っている場合は若い番号の出席者の回答を採用している。

Ⅱ. 集計結果

Ⅰ 医療安全・事故防止対策委員会等に関して

設問 1 医療安全・事故防止対策委員会等を設置していますか。

回答施設数 58

無回答数 1

※ 医療に係る安全管理のための委員会設置は、平成14年10月1日より医療法で義務づけられているところである。

摘 要	回答数	回答割合
①設置している	58	100%
②設置予定である	0	0
③検討中である	0	0
④設置予定はない	0	0

設問 2 委員会を設置している、設置予定であると回答した病院に対して

1 設置時期（ 年 月）は、

回答施設数 53

無回答数 6

※ 平成12～14年までに設置した施設が43病院、有効回答の81.1%を占める。

摘 要	回答数	回答割合
平成 3年	2	3.8%
平成 6年	1	1.9%
平成10年	2	3.8%
平成11年	4	7.5%
平成12年	12	22.6%
平成13年	14	26.4%
平成14年	17	32.1%
平成15年	1	1.9%
計	53	100.0%

2 設置の契機は、

回答施設数 49

無回答数 10

摘 要	回答数	回答割合
①事故多発	1	2.0%
②事故発生時の責任問題に配慮	15	30.6%
③その他	33	67.4%
計	49	100.0%

（その他の主な内訳）

・機能評価機構への受審（ISO取得含） 6

・診療報酬の取扱い、医療法改正により 6

3 開催頻度は、

回答施設数 55
無回答数 4

摘 要	回答数	回答割合
①毎月	54	98.2%
②隔月		
③年数回	1	1.8%
④事故発生之都度		
⑤その他		
計	55	100.0%

※ 月例開催が圧倒的である。

4 構成員の内訳(複数回答可)は、

回答施設数 55
無回答数 4

摘 要	回答数	回答割合
①理事長・院長	29	52.7%
②診療部長	37	67.3%
③看護部長	47	85.5%
④事務長	35	63.6%
⑤管理職全員	12	21.8%
⑥各部署責任者	40	72.7%
⑦有志	1	1.8%
⑧その他	15	27.3%

※ ・医療安全対策委員会に役職者のなか、看護部長の出席を求めている病院が一番多い。
・有志の出席を許している病院が1あった。委員会として会議の定足数、議決数を正確に把握することを考えると、有志の出席を認める理由がわからない。項目に掲げること自体理解できない。

(その他の主な内容)

副院長 4
薬剤長 3
病棟代表 3

5 構成員の職種(複数回答可)は、

回答施設数 55
無回答数 4

摘 要	回答数	回答割合
①医師	53	96.4%
②看護師	55	100.0%
③薬剤師	52	94.5%
④放射線技師	38	69.1%
⑤検査技師	44	80.0%
⑥その他の診療部門	30	54.5%
⑦事務職員	51	92.7%
⑧設備係	12	21.8%
⑨その他	11	20.0%

※ 医師の参画をみない施設が2病院、薬剤師が3病院あったのに比し、看護師は全病院で構成員となっている。

(その他の主な内容)

栄養士 9

設問 3 医療事故・医療過誤・ミス等を把握していますか。

1 定期的に集計している

回答施設数 54

無回答数 5

摘 要	回答数	回答割合
①各部署で	11	20.4%
②病院全体として	43	79.6%
③その他	0	0
計	54	100.0%

※ 平成14年10月1日より病院は、院内に設置された安全管理委員会に対して、医療機関内で発生した事故の報告等が義務づけられている。

2 発生の都度報告させている

回答数 27

※ 本設は他の設問と違い回答となる枝番号がない。肯定の意思を設問番号に直接○印を付すことと理解した者だけを集計している。

3 報告書に様式がある

回答施設数 55

無回答数 4

摘 要	回答数	回答割合
①統一している	50	90.9%
②統一していない	5	9.1%
③その他	0	
計	55	100.0%

※ 事故報告書を統一している施設が9割を占めた。

4 報告書様式を提供できますか

回答施設数 51

無回答数 8

摘 要	回答数	回答割合
①提供できる	41	80.4%
②提供できない	6	11.8%
③その他	4	7.8%
計	51	100.0%

5 四病協が集計する場合に報告内容を

回答施設数 52

無回答数 7

摘 要	回答数	回答割合
①提供できる	16	30.8%
②病院名削除で提供できる	14	26.9%
③提供できない	8	15.4%
④その他	14	26.9%
計	52	100.0%

※ 四病協に対して事故報告を、委員会等の了解を得てを含め、提出できるとした施設は8割強である。

(その他の主な内容)

管理者または委員会の確認が必要

12

設問 4 医療事故についてのマスコミ報道について

回答数 59
無回答数 8

摘 要	回答数	回答割合
①騒ぎすぎ	6	10.2%
②報道は必要であるが、 問題の本質に触れていない	45	76.3%
③報道は不十分	7	11.9%
④その他	1	1.7%
計	59	100.0%

※ 回答項目に報道は適正であるが欠落していたが、その他が1しかなく、それも批判的な見解であり、そのあり方に医療関係者全てが不満を持っていることが窺える。

設問 5 医療事故についての行政の対応について

回答数 58
無回答数 9

摘 要	回答数	回答割合
①過剰対応	7	12.1%
②適正な対応	8	13.8%
③対応不足	35	60.3%
④その他	8	13.8%
計	58	100.0%

※ 行政の対応不足を指摘した者が6割を超えている。

(その他の主な内容)

- ・行政の責任だけでは論じられない。
- ・少し視点を離れた対応が必要ではないか。
- ・行政がどのように働いているか把握できていない。

設問 6 医療安全・事故についての医療機関の対応について

回答数 60
無回答数 7

摘 要	回答数	回答割合
①過剰対応	1	1.7%
②適正な対応	20	33.3%
③対応不足	34	56.7%
④その他	5	8.3%
計	60	100.0%

※ 対応不足の回答が半数を超えている。

(その他の主な内容)

- ・対応に要するコストを負いきれない。

※ 職種別では医師だけが適正対応が対応不足を上回っている。

(職種別にみた回答状況)

摘 要	医 師	看護師	薬剤師	事 務	その他	無記名	計
過剰対応		1 (3.0%)					1
適正対応	4 (44.4%)	10 (30.3%)	1	4 (36.4%)		1	20
対応不足	3 (33.3%)	20 (60.6%)		7 (63.6%)	3 (75%)	1	34
その他	2 (22.2%)	2 (6.1%)			1 (25%)		5
無回答	2	1				4	7
計	11	34	1	11	4	6	67

※その他の職種:助産師、放射線技師、MSW、歯科助手

設問 7 医療安全・事故についての病院団体の対応について

回答数 59

無回答数 8

摘 要	回答数	回答割合
①過剰対応	0	
②適正な対応	24	40.7%
③対応不足	26	44.1%
④その他	9	15.2%
計	59	100.0%

(その他の主な内容)

・病院団体の活動がわからない

Ⅱ 医療安全管理者養成研修に関して

設問 8 あなたは専任の医療安全管理者(リスクマネジャーも含む)ですか。

回答数 61

無回答数 6

摘 要	回答数	回答割合
①専任である	9	14.8%
②兼任である	35	57.4%
③なる予定である	13	21.3%
④予定もない	4	6.5%
計	61	100.0%

※ 本講習会参加者の9割強が将来も含め、医療安全管理者で占めている。

設問 9 今までに次の講習会にて、医療安全管理者の認定を受けていますか。

摘 要	回答数	回答割合
①日本医師会	4	6.0%
②日本看護協会	2	3.0%
③その他	10	14.9%

(その他の主な内容)

・日本医療法人協会、日本精神科病院協会
全国自治体病院協議会、損保ジャパン
日本リスクマネジメント協会、
・①を現在履修中

※ ③その他に25名が○印を付している。そのなかに、受けていない者15名が含まれており、設問の趣旨からこれらの者を除き、③その他は10名とした。また、本設の有効回答は全員の67名とした。

設問11 あなたが医療安全について、現在、最も力を入れて取り入れている事柄は何ですか。
(複数回答可)

摘 要	回答数	回答割合
①医療安全管理委員会の開催	40	59.7%
②ヒヤリハット事例の収集・分析	52	77.6%
②-1 RCA法	2	
②-2 FMEA法	0	
②-3 その他	16	
③研修会の実施	41	61.2%
④その他	9	

②-3の分析方法として、シェルモデルが6名、4M4Eが3名、他にKYT、フィッシュボーン、4ブロックチャート、メディカルSAFER、事象関連図をあげている。

④その他として、人間教育(モラルの向上を含む)をあげている者が4名いた。

※ 本設問の有効回答は全員の67名としている。

設問12 四病協の医療安全管理者養成研修会に参加した理由は何ですか。

回答数 65

無回答数 2

摘 要	回答数	回答割合
①上司の命令	14	21.5%
②上司に勧められて	27	41.5%
③開催案内をみて	22	33.9%
④その他	2	3.1%
計	65	100.0%

設問13 あなたは養成研修会で何を最も学びたいと思いましたか。それは達成されましたか。
5段階評価でお答えください。

回答数 56

無回答数 11

達成度	回答数	回答割合
①できた	6	10.7%
②ややできた	34	60.7%
③普通	10	17.9%
④ややできなかった	5	8.9%
⑤全くできなかった	1	1.8%
計	56	100.0%

※ ややできたを含め7割の参加者が満足して受講を終えている。

学びたかった事項：回答者個々で参加への誘因が違うので、ここでは④と⑤の回答者の学びたかった事項を取り上げ、できなかった理由を掘り下げる。

- ・ヒヤリハット事例の収集・分析方法とそれらの活用の仕方(3名)
- ・QC手法(2名)

理由として、12月の演習で学びたいとする者2名、時間的に短いとする者2名

設問14 今回の研修会の項目につき、5段階評価でお答えください。

	5	4	3	2	1
重要性	特に重要	やや重要	普通	重要でない	不要
講義内容	特に良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い
時間配分	適当	短い	やや短い	やや長い	長い

	科 目	講 師	有効回答	重要性	講義内容	時間配分
1	概念の理解	宮沢	64	4.6	4.3	4.4
2	安全管理の必要性Ⅰ	宮沢	63	4.7	4.3	4.3
3	組織概論Ⅰ	大井	64	4.4	4.2	4.2
4	質の向上	飯田	64	4.7	4.3	4.1
5	品質管理概論	棟近/大藤	62	4.4	4.2	4.2
6	安全管理の必要性Ⅱ	鮎沢	62	4.7	4.3	4
7	医療経済・保険	鮎沢	62	4.4	4.1	4
8	組織概論Ⅱ	堺	62	4.4	4.1	4
9	安全管理の組織づくり	三宅	60	4.7	4.4	4.4
10	情報提供・収集	鈴木	59	4.5	4	4.2
11	ミスや事故等の事例収集と分析	岩崎	60	4.6	4.1	4
12	研修・教育	辺見	61	4.7	4.5	4.2
13	物の管理	田中	61	4.3	3.8	4
14	情報の管理・伝達	田中	60	4.3	3.8	4
15	基本統計の理解	関田	60	4	3.5	3.7
16	道具としてのPC	古市	58	4.1	4	4.5
17	演習		14	4.4		

※ 回答者の評点を加算し有効回答数で除した値である。
このときは未だ演習を実施していなく、回答数も少なかったが、重要性の認識だけは集計可能と考え、その平均値を表した。

設問15 医療安全管理者の業務と考えているものをお答えください。(複数回答可)

摘 要	回答数	回答割合
①医療安全部門の組織化と管理責任	60	89.6%
②医療安全の研修・教育	64	95.5%
③事例の収集・分析・改善策の立案	63	94.0%
④患者の相談	42	62.7%
⑤医療事故当事者への対応	45	67.2%
⑥医療訴訟への対応	23	34.3%

※有効回答数を全員の67名としている。

設問16 医療安全管理者として医療安全に関する政策の執行権を与えられていますか。

回答数 62

無回答数 5

摘 要	回答数	回答割合
与えられている	24	38.7%
与えられていない	38	61.3%
計	62	100.0%

Ⅱ. 分担研究報告

4. 医療安全管理者養成の教材開発に関する研究報告(Ⅲ)

分担研究者:大 井 利 夫

医療の質向上に関する調査

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）

分担研究報告書

「医療安全管理者」の標準的な養成及び活動方法の確立に関する研究

分担研究者 大井 利夫 日本病院会 医療安全対策委員会委員

研究要旨

医療の質向上について、医療安全管理者養成課程受講者の意識および所属機関の取り組み状況の実態等が明らかになった。

A 研究目的

四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院会、医療法人協会、精神科病院協会・以下四病協）が認証する「医療安全管理者」の養成方法を考課するにあたり、講習会に参加した医療従事者の「医療の質向上に関する意識と実態」を調査し、平成15年度厚生労働科学研究事業「医療安全管理者の標準的な養成及び活動方法の確立に関する研究」における「医療安全管理者養成の教材と活動マニュアルの策定」の参考に資することを目的とした。

B 研究方法

四病協が主宰する「医療安全管理者養成課程講習会」の受講者を対象にアンケート調査を実施した。講習会は第一クール（平成15年10月4～5日 受講生169名）と第二クール（平成15年10月18～19日 受講生158名）が行われ、アンケート調査は第二クール受講者158名を対象に実施。回答者は104名（90施設）である。得られた回答につき医療の質向上に対する意識や取組状況等の分析検討を行った。

C 研究結果

アンケートの調査結果については別紙参照。

D 考察

対象158名に対する回答率は65.8%であり、回答者の職種は看護師が48名と最も多く、次いで医師22名（内、院長7名、副院長10名）、事務職17名、医療安全管理室所属職員8名、その他9名であった。回答者はいずれも医療安全管理者養成講習会参加者であり、医療安全管理に関心を有するものと推定されるが、医療の質向上についても無回答の1名を除き全員が興味を示している。しかし、所属する病院において医療の質向上に対する何らかの取り組みを行っているのは79%で、15.4%の病院は実践されていない。年次別では、平成12年から質向上への取り組みが増加しているが、期待する効果が得られているか否かは、肯定と否定がほぼ拮抗して見られ、実践に向けての多くの問題点が指摘された。更に質向上の組織的改善活動である質管理/質経営/TQM等については、回答者の8割が言葉を知っているものの意味を認識しているとしたのは約3割に過ぎず、これらの質改

善活動が医療の質向上や病院経営に役立つ
か否かについては肯定と無回答が相半ばし
た。肯定した病院の約 6 割が自院にての質
管理やTQMなどの活動を希望しているが、
現在導入計画を有するとした病院はその
1/3 の 10 病院に過ぎない。医療の安全管
理と質の改善・向上については、今回のアン
ケートで見る限り、直結する問題としての
認識は残念ながら十分とは言えない状態に
ある。このことは、今後の医療安全管理者
講習会の研修内容について考慮されるべき
課題と思惟される。

E 結論

四病協の主催による「医療安全管理者養
成課程講習会」は今年度から実施されたが、
養成内容や方法は未だ十分に確立してい
るとは言い難い状態にある。四病協では、今
回の養成事業を実施するにあたり、養成内
容を標準化するために講習会の教材・教本
作りに取り組むことを研究課題とした。養
成内容や方法を標準化することにより、優
れた医療安全管理者を養成し、広く全国の
病院に配置し、病院における安全文化の構
築と医療の質の向上に資することを目的と
している。今回は教材と活動マニュアル策
定の研究初年度でもあり、今年度実施した
講習会に参加した受講生を対象に、養成内
容の参考にするべく、医療の質向上に関す
る意識と実態調査を行った。参加した病院
の種別や受講生の職種により様々な回答が
得られたが、全体として医療の安全に対す
る関心の高さに比し、具体的な医療の質向
上への認識と手法の理解には齟齬が伺われ
た。医療の安全文化構築は医療の質向上へ
の取り組みが条件とされ、両者は不即不離

の状態にあると言われている。今回得られ
た調査結果を参考に、四病協は今後さらに、
主宰する医療安全管理者養成過程講習会に
おける養成内容の検討を進め、医療の質向
上の具体的事項も加味された教材と活動マ
ニュアルの策定に取り組む必要があると考
えられる。

F 健康危険情報

なし

G 研究発表

なし

H 知的財産権の出願・登録状況

なし

医療の質向上に関するアンケート

平成 15 年 10 月

四病院団体協議会 医療制度委員会 医療安全対策小委員会
委員長 元 原 利 武

社会の変革は目覚ましく、国民や患者の意識が大きく変わっています。医療機関および医療従事者が対応するためには、組織的な医療の質向上の取り組み、すなわち総合的質経営（Total Quality Management：TQM）が必要です。日本品質管理学会医療経営の総合的質研究会の協力を得て、医療の質向上に関する会員病院の現状を把握し、今後の活動の参考とさせていただきたく、ご回答を宜しくお願い申し上げます。

空欄に記入、あるいは、番号に○をして下さい。はい/いいえ の選択肢については、該当する方に ○印、自由記載欄は簡潔にご記入いただければ幸いです。

I 基本属性

- 1 都道府県名：_____ 2 病院名：_____
- 3 設立主体（①個人、②医療法人、③公益法人、④公的、⑤その他（ ））、
- 4 病床数（一般 _____、療養 _____、精神 _____、合計 _____）・・・9月30日現在の数値を記入下さい。
- 5 診療科目数（ ）、6 平均入院患者数（ ）、7 平均外来患者数（ ）、
- 8 平均在院日数（ ）、9 記入者：所属（ ）・役職（ ）

II 医療の質向上に関する質問

- Q-1 貴方は『医療の質』やその改善について興味をお持ちですか？ （はい / いいえ）
はい / いいえ とともに、その理由をお聞かせください。

--

- Q-2 貴方の病院では『医療の質向上』について何か組織的な活動を行っていますか？ （はい / いいえ）
いいえ の場合、その理由をお聞かせください。

--

- Q-3 貴方は質管理/質経営/TQMといった言葉を聞いたことがありますか？ （はい / いいえ）

- Q-4 これらの言葉の意味をご存知ですか？ （はい / いいえ）

「はい」と回答した方は、Q-5へお進みください。

「いいえ」と回答された方は、Q-10へお進みください。

Q-5 これらの活動に興味をお持ちですか？

(はい / いいえ)

はい の場合、どのような点に興味をお持ちですか？

--

Q-6 一般論として、質管理/質経営/TQM等の活動は、医療の質向上や病院経営に役立つとお考えですか？

(はい / いいえ)

はい / いいえ ともに、その理由をお聞かせください。

--

Q-7 ご自分の病院でも、これら質管理/質経営/TQM等は役立つとお考えですか？

(はい / いいえ)

はい / いいえ ともに、その理由をお聞かせください。

--

以下の二つの質問は、質管理/質経営/TQM等の活動をまだ導入していない病院に対してお伺いします。

Q-8 ご自分の病院でも質管理/質経営/TQM等の活動をやってみたいとお考えですか？

(はい / いいえ)

はい / いいえ ともにその理由をお聞かせください。

--

Q-9 貴方の病院では現在、導入する計画をお持ちですか？

(はい / いいえ)

いいえ の場合の理由をお聞かせください

--

はい の場合は、その具体的導入時期をお教えてください

--

Ⅲ 組織的な質向上活動を重要な経営課題として実施している病院への質問

Q・10～Q・13 の質問は、『医療の質向上』について、組織的活動を既に行っている病院、或いは質管理/質経営/TQM等の活動を導入している病院にお聞きします。(貴院に該当しない項目は無記入で結構です。)

Q・10 貴方の病院で進めている活動とはどのようなものか、その概要をお聞かせください。

Q・11 その活動はいつ頃導入されましたか？

年 月 頃

Q・12 その活動は順調に進んでいますか？

(はい / いいえ)

はい / いいえ ともに、その要因はどこにあるとお考えですか？

Q・13 期待する効果は上がっていますか？

(はい / いいえ)

いいえ の場合、何が問題だとお考えですか？

はい の場合、それはどのような効果ですか、その具体的効果をお教えてください。

Ⅳ 本アンケートおよび委員会の活動に関して何かお気づきの点があればお聞かせください。

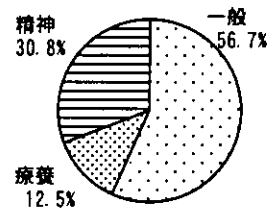
ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

医療の質向上に関する調査

※回答者は104名、施設数は90施設で集計
H15年厚生労働科学研究事業

1. 回答者の病院種別

病院種類	件数	
1. 一般	59	56.7%
2. 療養	13	12.5%
3. 精神	32	30.8%
4. 無回答	0	0.0%
合計	104	100.0%

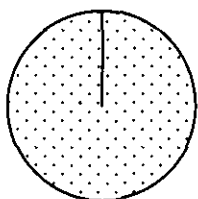
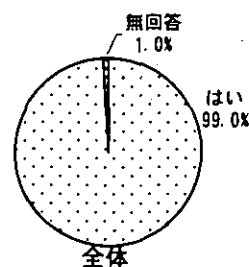


- ・ 回答いただいた施設は90施設。
- ・ 病棟別に区分すると一般病床が約6割強、療養病床が1割強、精神病棟が3割強であった。

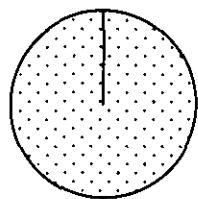
II. 医療の質向上に関する質問

Q1 貴方は『医療の質』やその改善について興味をお持ちですか？
はい/いいえ ともにその理由をお聞かせください。

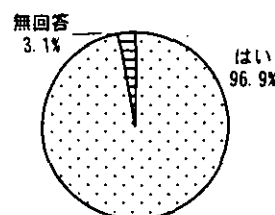
病院種類	はい	いいえ	無回答	合計
1. 一般	59	0	0	59
2. 療養	13	0	0	13
3. 精神	31	0	1	32
4. 無回答	0	0	0	0
合計	103	0	1	104



一般



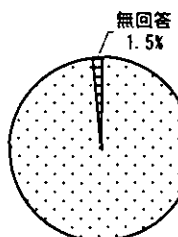
療養



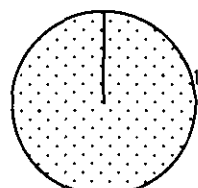
精神

医療の質についてはほぼすべてで興味があることがわかる。

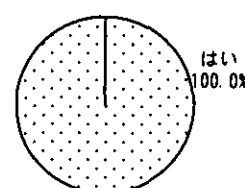
病院種別	はい	いいえ	無回答	合計
個人・医療法人	64	0	1	65
精神	20	0	0	20
公的・公立・他	18	0	0	18



個人・医療法人



精神



公的・公立・他

【はい】の、その理由をお聞かせ下さい。 【いいえ】 0件

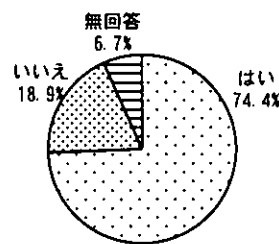
【はい】

- 「医療の質」と改善、数多くあり何から手をつけるか？何をどうやるべきか考えさせられます。病院は私の職場であり医療とは私の仕事です。自分自身の向上も含め、仕事の質の向上、働く病院のレベルアップ、これは働くなかで永遠の課題ではないかと受け止めております。
- ISO、第三者機能評価取得予定、その為の準備。
- QCサークル活動を行っています。テーマはつきることがありません。
- どのような施設がどのような事にどういう取り組みをして改善した結果どうなったのかが知りたい。こういった取り組みを当院でするべきか悩んでいる。
- 医学、患者の意識、知識共にその進歩は著しいものがあります。従って医療従事者は常に新しい情報の収集と共に患者のニーズに応えるだけの技術、知識を併せた医療の質の向上を心がけることが必要と考えます。
- 研修に多く参加し、クリアな医療が必要だと感じているが、まだまだ研修に参加していない医師等考えが遅れていて閉鎖的であるため、改善していきたい。

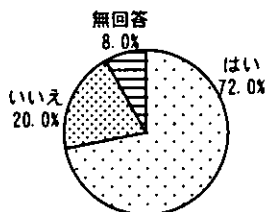
Q2 貴方の病院では『医療の質向上』について何か組織的な活動を行っていますか？

いいえの場合、その理由をお聞かせください。

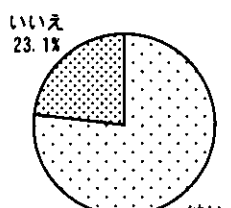
病院種類	はい	いいえ	無回答	合計
1. 一般	36	10	4	50
2. 療養	10	3	0	13
3. 精神	21	4	2	27
4. 無回答	0	0	0	0
合計	67	17	6	90



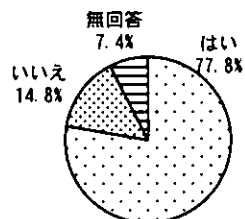
Q1ではほぼすべてが興味を持っています、実際組織的活動を行っている施設は、約8割弱であるのが現実である。



一般

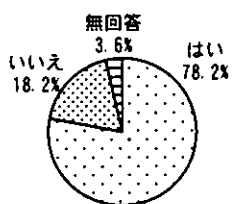


療養

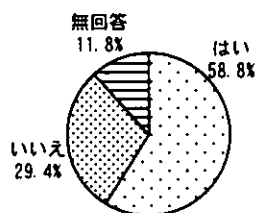


精神

病院種別	はい	いいえ	無回答	合計
個人・医療法人	43	10	2	55
公的・公立・他	10	5	2	17



個人・医療法人



公的・公立・他

【いいえ】の場合、その理由をお聞かせください。

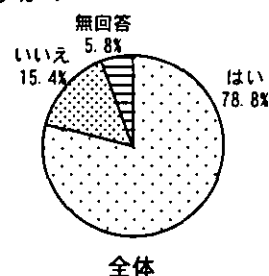
- ☐ 職員にそのような認識が無い。
経営団体が代ったばかりで、余裕がない。
- ☐ 病院的にあまり積極的でない。
- ☐ 部署ごとの活動は、それぞれに行っているが、組織横断的な活動ができていない。

【はい】

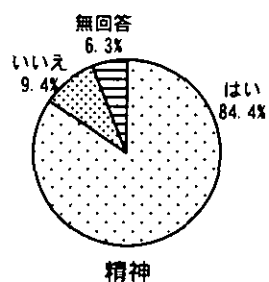
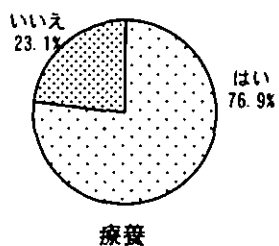
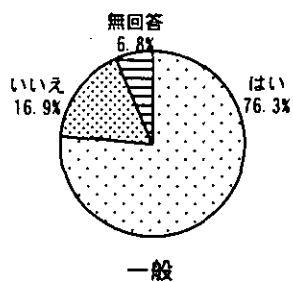
- ☐ 院内研修会（年間テーマを決め毎月1回）。
外部講師を呼んでの研修会。
研修会、講習会への職員参加。
- ☐ 医療安全管理委員会。
職員相談室。
- ☐ 研修参加後、レポート提出、伝達講習会。
- ☐ 医療事故防止対策委員会で事故・ヒヤリハットの発表をし、重大な事故については病棟で再度検討会を行っている。

Q3 貴方は質管理/質経営/TQMといった言葉を聞いたことがありますか？

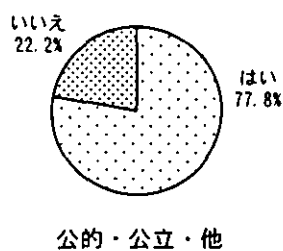
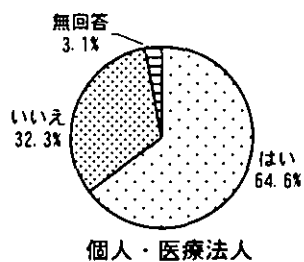
病院種類	はい	いいえ	無回答	合計
1. 一般	45	10	4	59
2. 療養	10	3	0	13
3. 精神	27	3	2	32
4. 無回答	0	0	0	0
合計	82	16	6	104



はいと答えた施設は、ほぼ8割であり、いいえと答えている施設も約15%くらいあることがわかる。

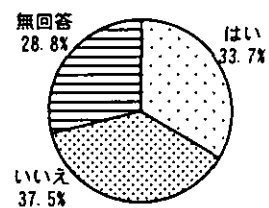


病院種別	はい	いいえ	無回答	合計
個人・医療法人	42	21	2	65
公的・公立・他	14	4	0	18



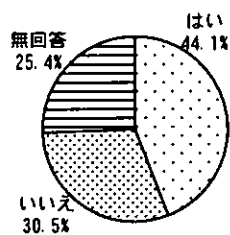
Q4 これらの言葉の意味をご存じですか？

病院種類	はい	いいえ	無回答	合計
1. 一般	26	18	15	59
2. 療養	4	6	3	13
3. 精神	5	15	12	32
4. 無回答	0	0	0	0
合計	35	39	30	104

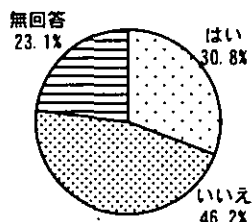


全体

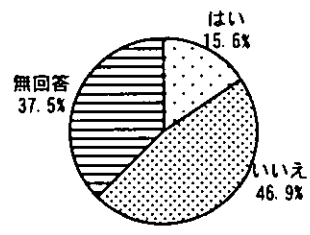
Q3で聞いたことはあってもその言葉の意味を知っているのは、
全体の約1/3であり、療養・精神施設では、約半数が「いいえ」と答えている。



一般

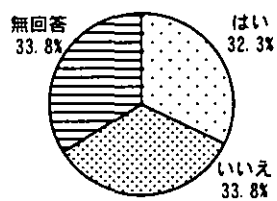


療養

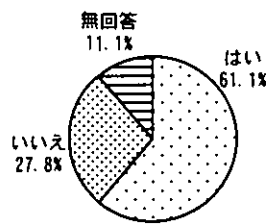


精神

病院種別	はい	いいえ	無回答	合計
個人・医療法人	21	22	22	65
公的・公立・他	11	5	2	18



個人・医療法人

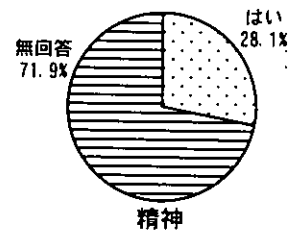
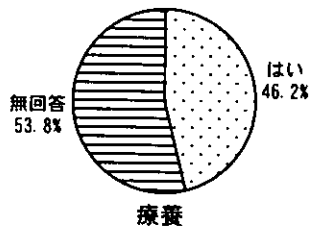
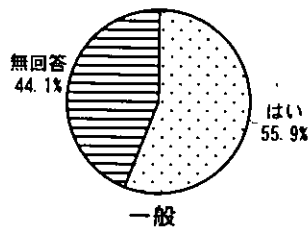
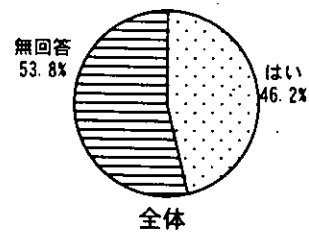


公的・公立・他

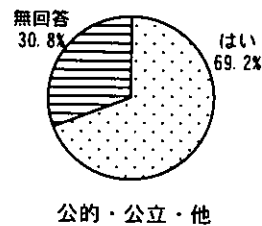
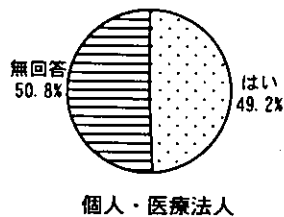
Q5 これらの活動に興味はお持ちですか？

病院種類	はい	いいえ	無回答	合計
1. 一般	33	0	26	59
2. 療養	6	0	7	13
3. 精神	9	0	23	32
4. 無回答	0	0	0	0
合計	48	0	56	104

医療の質では、興味があると答えているが、活動に興味があるかというといえと答えている施設も約半数以上あることがわかる。



病院種別	はい	いいえ	無回答	合計
個人・医療法人	32	0	33	65
公的・公立・他	9	0	4	13



【はい】の場合、どのような点に興味をお持ちですか。

【はい】

- 「円滑な組織管理・運営」。
- テーマを決めて、各部署、いろいろな立場の人が考え、対策を立てるところ。
- どうすればマネジメントすることができるか、ということ。
- どれだけの効果を得ることができるかということ。
- より良い患者サービスを目指す為に、何が必要か。
- 看護部のみにとらわれず、病院全体として、TQM活動を行うことは、他の部署だからこそ、見えてくる課題は、成果があると考えます。
- 他院の経験を知りたい。
- 病院の質の向上につながる点。
- 保険医療制度の中での医療の質向上を考えていく上で興味がある。